

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-60	小学校	算数	算数	4 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数403	たのしい算数4年		

## I 編修の基本方針

### 「たのしい算数」が大幅リニューアルしました

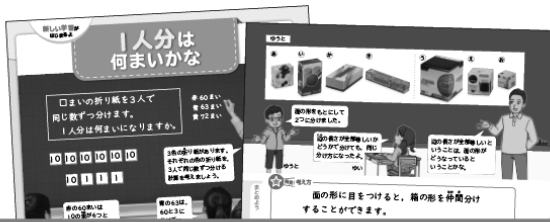
2020年度版「たのしい算数」は、新しい時代を生き抜くために必要な資質・能力を育成するため、内容を**大幅に刷新**しました。ていねいな紙面構成・展開で、全ての児童、先生にとってわかりやすい教科書を目指し、周辺教材とも連携しながら、豊かな学力が身につく教科書を目指しました。



ウェブコンテンツ、指導者用・学習者用デジタル教科書、準拠問題集などと一体で学力をのばします。

#### 1. 考えるってたのしい！を育てる

→ 本紙 p.2



主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的でていねいな紙面構成とし、**見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力をのばす**ことができるように様々な工夫をしました。

#### 2. 算数大好き！を育てる

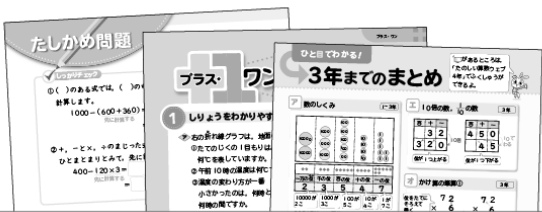
→ 本紙 p.3



導入や展開を工夫したり、発展的に学習をひろげる様子を盛り込んだりし、**主体的に学習が進められる**ようにしました。さらに、「ふくろう先生のなるほど算数教室」を新設するなどし、**学びに向かう力を一層高める**ことができるようにしました。

#### 3. わかった！できた！を育てる

→ 本紙 p.4



練習問題を豊富に用意するとともに、個に応じた指導に配慮した単元末問題や、前学年までのポイントをまとめたページなど、**基礎・基本が確実に定着**するようにしました。

学年1冊本だから、ふりかえりがしやすいね。



#### さらに！

→ 別紙「学習指導要領との対照表」参照

- 学習の進め方がわかる巻頭「算数まなびナビ」
- 統計的問題解決を重視し、デジタルコンテンツも備えた統計単元
- スタートカリキュラムに対応した単元展開(1年)
- 小中の接続に対応した特設ページ(5, 6年)
- 全学年でプログラミング教育に対応
- 領域カラーやインデックスなど、機能的な紙面構成
- 特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮
- 外国語、道徳、防災、情報、オリンピック・パラリンピックなど、現代的な諸課題に対応

# 1 考えるってたのしい！を育てる ～思考力・判断力・表現力の育成～

①主体的・対話的で深い学びを実現するよう、重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と設定し、授業の流れ・数学的活動の流れをていねいに示しました。

**導入→問題把握→自力解決**

1人分は何まいかな

2 わり算のしかたを考えよう

**発表**

**比較検討→まとめ・適用→ふりかえり**

特に単元2の「じっくり深く学び合おう」では、写真を使いながら、6ページにわたって詳細に展開を示しているよ。

板書の様子も掲載し、指導のヒントになるようにしました。

式や図を読み取る活動や友達の発言に付け足しをする様子なども示しました。

解決方法の共通点やよさを見いだす話し合いの場面も詳細に提示。

学習感想例を先生のコメント例付きで掲載。

②考え方に焦点をあてたまとめ「発見！考え方」や「ひらめきアイテム」を新設。見方・考え方を働かせながら学習を進められます。

p.50

直角を90等分した1つ分を1度といい、1°と書きます。直角や度は、角の大きさを表す単位です。

1 直角 = 90°

角の大きさを、角度ともいいます。

★発見！考え方

角度も、長さやかさ、重さのように、単位のいくつ分で考えると、数で表すことができます。

ひらめきアイテム p.285から いくつ分で考える

p.285 (巻末シート)

似た問題や、かんたんな数の場合と同じように考える

もとにするものいくつ分で考える

前に学習したことが使えるように、

「数や形が変わったら」別の計算になったら、学習を

p.173

水が1.23L入っているバケツと、4.75L入っているバケツがあります。1つの水そうに入れると、何Lになりますか。

1 全部で何Lになるか求める式を書きましょう。

2 小数のたし算のしかたを考えよう。

3 自分の考えをノートに書いて、いっしょに考え方を分かち合おう。

4 自分の考えを発表しよう。

ひらめきアイテム p.173から いくつ分で考える

本時のまとめは、知識・技能だけでなく、考え方に焦点をあてたものも掲載。

様々なところで使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として提示。

発見したアイテムは、巻末シートにメモ。

アイテムを別の問題の解決などに生かします。

③各種の学力調査で課題とされている読解力・表現力・活用などが身につきます。

読み取る力をのばそう

グラフから読み取ろう

次の表やグラフは、4年生の4月から7月までの落とし物の数を表したものです。この表やグラフについて、答えましょう。

4年生のクラス別の落とし物の数 (こ)

	4月	5月	6月	7月	合計
1組	18	15		13	
2組	19	17	9		

情報を読み取る力や、学習を活用する力を育成する「読み取る力をのばそう」を新設しました。

単元末の問題に、思考力・判断力・表現力を問う問題を設定。文章量の多い問題も取り入れ、読解力も育成します。

小数のひき算のしかたを説明できるかな

ゆうとさんは、 $2.35 + 1.62$ の計算のしかたを、0.01もとにして考えています。

$2.35$ の0.01が235こ分、 $1.62$ は0.01が162こ分、合わせて0.01が397こ分だから、 $2.35 + 1.62 = 3.97$

ゆうと

ゆうとさんの考え方を、 $1 - 0.472$ の計算のしかたを説明しましょう。

5 計算のまちがいを見つけて、① ② 正しく計算しましょう。

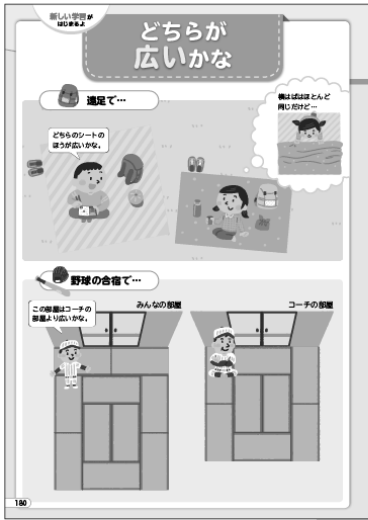
① 
$$\begin{array}{r} 3.72 \\ + 4.6 \\ \hline 4.18 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 3.1 \\ - 2.34 \\ \hline 0.84 \end{array}$$

# 2

## 算数大好き！を育てる ～学びに向かう力・人間性等の涵養～

①導入の工夫や、発展的に考える様子の例示などを通して、主体的に学習に取り組めるようにしました。



p.180



p.236

②  $630 \div 30$     ③  $730 \div 90$     ④  $39 \div 13$   
 ⑥  $91 \div 34$     ⑦  $96 \div 17$     ⑧  $85 \div 41$   
 ⑩  $99 \div 14$     ⑪  $89 \div 28$     ⑫  $64 \div 16$

ひろげる  
 2けたの数をわる計算を学習したから、次に……を考えてみたい。

ゆうと

p.135

学習をふりかえて、新しい問題を見いだしていく様子を例示。

単元導入や毎時の導入では、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。

②算数の学習を日常生活や他教科の学習に生かす態度を養います。

2 次の4つの品物を買に行きます。いくら持っていけばよいか、見積もりましょう。

りんご 390円	クッキー 230円	ケーキ 630円	アイスクリーム 280円
-------------	--------------	-------------	-----------------

☆ 目的に合った見積もりのしかたを考えよう。  
 ▶ 見積もりのしかたを考えて、ノートにかきましょう。

p.123

学習したことを生活に生かすことのできる題材を工夫しました。また、1～3年では、「おうちで算数」を新設しました。

生活や他の教科から、ぎもんを感じたことなどを見つけてみよう

友達とおかしを分けるときに使えそうだな。

ふりかえろう

- 学習をふりかえて、感想を書こう。
- ⇒ p.9 (ふりかえりのポイント)
- もっと大きな数のわり算にチャレンジしてみたい。

p.7

巻頭の算数まなびナビでも、学習したことを生活に生かそうとする様子や、発展的に新しい問題を見いだす様子を掲載しました。

③算数のたのしさがひろがるコラム「ふくろう先生のなるほど算数教室」を新設しました。

なるほど算数教室

2 つなげて切る?

パーティーのざりつけをするときに、右のように紙を使って、輪かざりを作ったことがある人も多いと思います。この輪を使って、いろいろな形をつくってみましょう。

- 1 次のように、同じ大きさの2つの輪をつなげて、……で切ってみましょう。どのような形ができるでしょうか。
- 2 右のように、小さい輪と大きい輪をつなげて、……で切ると、どのような形ができるでしょうか。
- 3 ひし形をつくるには、同じ大きさの2つの輪をどのようにつなげればよいでしょうか。
- 4 平行四辺形をつくるには、どのようにすればよいでしょうか。

p.110

「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、面白い算数の問題やお話、算数を活かして仕事をされている方へのキャリア教育インタビューなどを掲載。算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感させたりすることができます。

なるほど算数教室

5 小数と分数のれきし

小数と分数は、どちらも整数では表されないものの大きさを表すときに使うのですが、どちらが先に使われたのでしょうか。

分数は、約4000年前から、古代エジプトで使われていました。当時は、次のような記号を使って、分数を表していました。

一方、小数は、発明されてからまだ400年ほどしかたっていない。小数がなかったころは、分数が使われていたが、オランダのシモン・ステビンという人が、分母が10や100の分数を使うと計算がかんたくなることを発見し、小数を発明したのです。ステビンの発明した小数は、次のような表し方をしました。

その後、ネイピアという人が小数に改良し、げんざいのような数の表し方になりました。

1 3.67や29.48という数も、ステビンの方法で表してみましょう。

p.235

なるほど算数教室

算数お仕事インタビュー

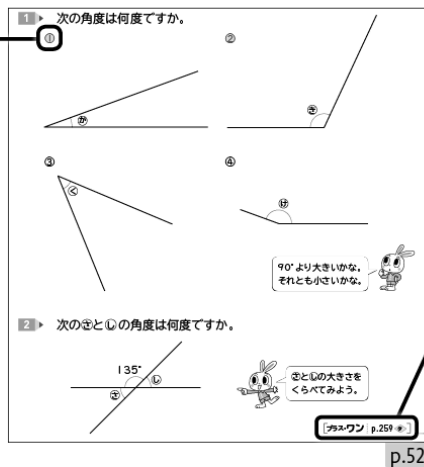
大日本図書ウェブサイトに、インタビューの動画も掲載するよ。

p.251

# 3 わかった!できた!を育てる ~知識・技能の確実な習得~

① 充実した適用問題・補充問題で、知識・技能を確実に身につけ、定着させます。

毎時の適用問題は、従来より問題数を増やし、全単元にわたって十分な量を設けました。



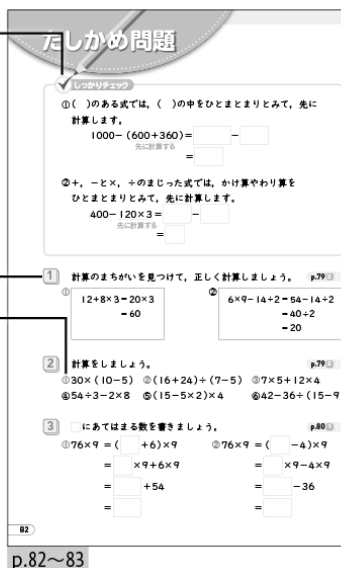
水色の印で問題のタイプ分けを提示。全単元で採用し、時間調整や習熟度別指導に対応しやすくしました。



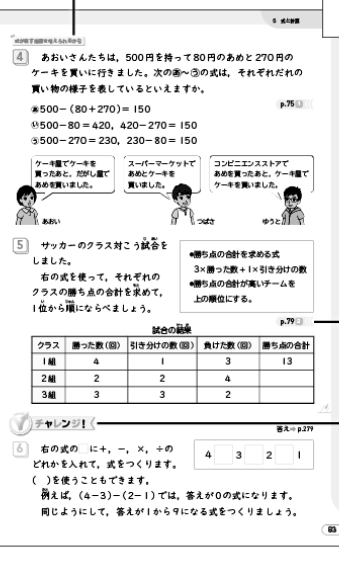
鉛筆問題に対応した巻末の補充問題「プラスワン」を全単元にわたり豊富に掲載しました。自分で答え合わせもできます。

② 習熟度別指導などの個に応じた指導や自己評価に活用できるように、単元末の「たしかめ問題」を刷新しました。

**しっかりチェック**  
用語や計算のしかたなどの基礎・基本を再確認できる「しっかりチェック」を新設。



問題番号には水色の印をつけました。授業時間が限られていたり、習熟度別指導の際に、水色の問題だけ取り組むといった柔軟な使い方ができます。



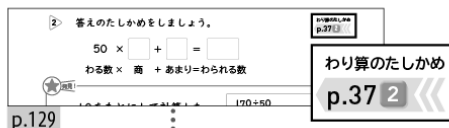
式が表す場面を考えられるかな  
思考力・判断力・表現力を問う問題も掲載し、評価としても活用できるようにしました。

ふりかえるページも掲載。

**チャレンジ!**  
習熟度の高い児童には、「チャレンジ!」の問題を用意。

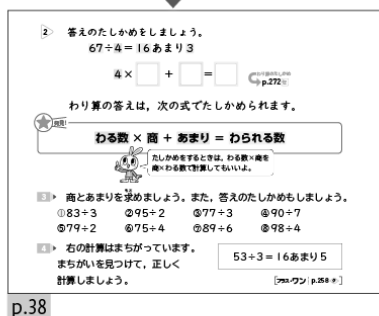
③ 学習のふりかえりや学び直しができるよう、学年1冊本とし、巻末には前の学年までのまとめページを新設しました。

全学年、上下巻に分かれていない学年1冊本を採用。4年で学習したことをくりかえしふりかえることができます。



4年の中で、学習をふりかえる。

特にふりかえることが効果的などころでは、リンクマークを設置しました。



前の学年までの学習をふりかえる



前の学年までの学習をコンパクトにまとめたページを新設。文章を短くし、図を多用して、ひと目でポイントが確認できるようにしました。

## II 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	目次	・目次ページには、 <b>既習事項や今後の学習とのつながり</b> を記載しました。(第一号)	表紙裏～p.1
	算数まなびナビ	・「算数まなびナビ」では、学習の進め方を算数の問題解決の流れとして <b>サイクル状</b> に示すとともに、 <b>生活や他教科に学習を生かす</b> 様子も掲載しました。(第一、二号) ・ <b>ペア・グループ学習</b> の例や、 <b>友達のかえのよさ</b> を見いだすことなどを掲載しました。(第一、三号)	p.6～9
本編	各単元の構成	・主体的・対話的で深い学びが実現するよう、 <b>数学的活動を豊富に取り入れ</b> 、知識・技能、思考力・判断力・表現力が育成できるようにしました。(第一、三号)	全体
	じっくり深く学び合おう	・重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、 <b>主体的・対話的で深い学び</b> が実現するよう工夫しました。(第一、三号) ・ <b>自分の考えを表現する活動</b> や、問題に対する <b>多様な解決方法</b> を掲載しました。(第二、三号)	p.19～20, p.30～35, p.187～188など
	まとめ ひらめきアイテム	・まとめは、知識・技能面だけでなく、 <b>考え方に焦点をあてた「発見！考え方」</b> を取り入れました。(第二号) ・様々な場面で使える <b>見方・考え方を「ひらめきアイテム」</b> として掲載しました。また、学習の中で発見したアイテムは <b>巻末シート</b> に記録し、以降の学習で活用できるようにしました。(第二号)	p.34, 149, 174など p.50, 54, 94など p.285
	適用問題	・毎時の適用問題は、 <b>従来よりも豊富に掲載</b> し、 <b>基礎的・基本的な知識・技能</b> を定着させることができました。(第二号)	p.60, 79, 175, 205など
	ふりかえろう	・「じっくり深く学び合おう」のページを中心に、学習感想を書くコーナー「ふりかえろう」を設け、大切な考え方に気づかせたり、自己評価を促したりすることができるようになりました。(第一、二号)	p.35, 99など
	たしかめ問題	・単元末の「たしかめ問題」は、「しっかりチェック」「チャレンジ!」を設けるなどし、 <b>習熟度別指導などの個に応じた指導</b> に柔軟に活用できるようにしました。また、どの問題までできたかを見ることで自己評価ができるようにしました。(第一、二号) ・ <b>思考力・判断力・表現力を問う問題</b> も適宜取り入れ、評価にも活用できるようにしました。文章量の多い問題も取り入れ、 <b>読解力を育成</b> することもできるようにしました。(第一、二号)	p.82～83, p.218～219, p.233～234など
	読み取る力を のばそう	・各種の学力調査で課題とされている、 <b>読解力・活用力・表現力を育成</b> するため、「読み取る力をのばそう」を新設しました。(第一、二号)	p.28～29, 71, 162
	ふくろう先生の なるほど算数教室	・「 <b>ふくろう先生のなるほど算数教室</b> 」を新設し、興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりできるようにしました。(第一、二号) ・ <b>算数を生かして仕事をされている方へのインタビュー</b> を掲載し、大日本図書のウェブサイトにもその動画も掲載しました。(第二号)	p.72～73, 110, 154, 198, 235, 251
	そろばん	・ <b>伝統文化を尊重</b> する態度を養うため、そろばんのよさや記数法との関連に気づかせる内容を工夫しました。(第五号)	p.196～197
	プログラミングに ちようせん!	・ <b>プログラミング</b> に触れる特設ページを <b>全学年</b> に設け、 <b>プログラミング的思考</b> をのばすことができました。(第一、二号)	p.256
巻末	プラス・ワン	・巻末補充問題「 <b>プラス・ワン</b> 」を <b>全単元にわたって</b> 設定し、 <b>基礎的・基本的な知識・技能</b> を定着させることができました。(第一、二号)	p.257～269
	3年までのまとめ	・ <b>前の学年までの学習内容を図などを使ってまとめた「3年までのまとめ」</b> を新設し、 <b>基礎的・基本的な知識・技能</b> をくりかえしふりかえることができました。(第一、二号) 単元内には、「3年までのまとめ」への <b>リンクマーク</b> を付しました。(第一、二号)	p.270～273 p.59, 140, 163, 171など
	数直線図のかき方	・数直線図のかき方の理解・定着を図るために、手順を細かく解説する特設ページを設けました。(第一、二号)	p.274～275
その他	イラストや写真	・キャラクターの1人を <b>外国にルーツをもつ児童</b> に設定。挿絵や活動写真にも適宜外国にルーツをもつ人や外国人を掲載し、異文化理解を促すようにしました。(第三、五号) ・イラストの中などに、 <b>車椅子を使っている人や盲導犬</b> を入れ、 <b>障害者に対する理解</b> を促すようにしました。(第三、五号)	p.53, 112, 236など p.74, 112, 121など
	環境、福祉などに 配慮した問題	・自然を大切に、 <b>環境の保全</b> に寄与する態度を養うため、 <b>資源に関連した問題</b> を取り入れました。(第四号)	p.76, 204など
	特別支援教育、ユニ バーサルデザインに 配慮した紙面構成	・専門家の監修のもと、 <b>全面的にユニバーサルデザインフォント</b> を使用したり、 <b>カラーユニバーサルデザイン</b> をふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。(第一号)	全体
	デジタルコンテンツ	・知識・技能を定着させたり、学習をよりひろげたりすることができるよう、 <b>デジタルコンテンツ</b> を用意し、対応するページにマークを付しました。(第一、二号)	p.15, 88, 242など

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-60	小学校	算数	算数	4年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数403	たのしい算数4年		

## I 編修上特に意を用いた点や特色

### 1 学習の進め方がよくわかる巻頭「算数まなびナビ」

p.6~7

**算数まなびナビ**

問題の学び方  
～3年の学習を振り返り～

生活や他教科に学習を生かす様子も例示。

学び合おう  
～3年の学習を振り返り～

自分て考えよう

じっくり深く学び合おう!

グループ

ペアやグループでの対話的な学びの例も提示。

学習の進め方・問題解決の流れをサイクル状に示し、学習を発展的にひろげていく態度を促すようにしました。

ペアやグループでの対話的な学びの例も提示。

p.8~9

**算数まなびナビ**

ノートのかき方

ノートのかき方の例

発表のポイントや、友達の発表を聞くときの姿勢についても掲載。

話し方

聞き方

発表のポイントや、友達の発表を聞くときの姿勢についても掲載。

### 2 統計的な問題解決を重視した統計単元

p.10~11

**気温の変わり方は…**

1 しりょうをわかりやすく整理しよう

折れ線グラフと表

折れ線グラフの読み方

1 おおひさんは、右のページの表のように、東京の気温を目ごとに調べました。東京の気温の変わり方をわかりやすく表すには、どのようにすればよいでしょうか。

2 次の表～③のどれを使えばよいか考えて、右の体温の変わり方を折れ線グラフに表しましょう。

① 折れ線グラフの読み方

② 次の2つのグラフは、りくさんとなおさんの、1年生から4年生までの50m走の記録を載したものです。これらのグラフについて、右の考えは正しいでしょうか。

導入では、問題を見いだす場面を提示し、グラフを用いて問題を解決する必要感をもたせるようにしました。

p.18

2 次の表～③のどれを使えばよいか考えて、右の体温の変わり方を折れ線グラフに表しましょう。

① 折れ線グラフの読み方

② 次の2つのグラフは、りくさんとなおさんの、1年生から4年生までの50m走の記録を載したものです。これらのグラフについて、右の考えは正しいでしょうか。

デジタルコンテンツを設置し、動的な考察も可能にしました。また、批判的に考察する問題を新設しました。

### 3 ICT 教育の充実，プログラミングページの新設

**垂直な直線のひき方**

① 図解①に三角じょうぎを合わせ、  
② ③の三角じょうぎをおさなげら、もう1まいの三角じょうぎの頂角のある足を、下の三角じょうぎに合わせて。  
④ 一方の手で2まいの三角じょうぎをおさえて、もう一方の手でえん筆を持つ。

p.88

**立方体の展開図になっているものはどれですか。**

p.242

**展開図の練習**

☐のマークがあるところには、垂直な直線のひき方の動画や、展開図の練習問題などのデジタルコンテンツを用意。インターネットにつながなくても使用できるよう教師用指導書にも収録予定です。

**プログラミングにちょうせん!**

**アルゴリズム**

単元2で学習したわり算の筆算は、たてる、かける、ひく、おろすという手順を行うことで、だれでも同じように答えを求めることができます。

2 を たてる	-2
3 と 2 を かける	3   7 2
7 から 6 を ひく	+6
2 を おろす	-1 2

このような、問題をとくための決まった手順を、「アルゴリズム」といいます。算数では、いろいろな場面でもアルゴリズムが登場します。例えば、たし算やひき算、かけ算の筆算の手順も、アルゴリズムの1つです。

1 3けたのたし算の筆算のアルゴリズムを、右のように図に表しました。にあてはまる数を考えてみましょう。

p.256

「プログラミングにちょうせん！」のページを新設。4学年では筆算のしくみをアルゴリズムの観点から見直すことを通して、プログラミング的思考に触れる構成としました。



「プログラミングにちょうせん！」は全学年に設定してあるよ。

### 4 使いやすく機能的な紙面構成

ふりかえりをするときに探しやすいインデックス

学習のつながりがわかりやすい、領域別単元カラー

- 緑 : 数と計算
- ピンク : 図形
- オレンジ : データの活用
- 青 : 変化と関係

本時の学習内容がひと目でわかる、学習のめあて（2年以降の全時間に設定）

**15 箱の形の特ちょうを調べよう**

立方体と立方体

いろいろな箱を集めました。

1 立方体と立方体

上の①～④の箱の形を、2つの特徴に分けましょう。

箱の形の仲間分けのしかたを考えよう。

- 仲間分けをして、ノートにかきましょう。また、そのように考えたわけもかきましょう。
- 自分の考えを発表しましょう。また、友達のことを聞いて、どのような考えが説明しましょう。
- 考えの良いところやいているところについて話し合しましょう。

解決方法を見せない  
右ページ始まり

p.237

箱の形をもちよとして2つに分けよう。

この表が全部正しいかどうかは、箱の大きさや形が違っていても、分け方によって、正しい場合があります。

この表が全部正しいかどうかは、箱の大きさや形が違っていても、分け方によって、正しい場合があります。

面の形に目をつけると、箱の形を仲間分けすることができます。

長方形だけでかまれた形や、長方形と正方形でかまれた形を、**直方体**といいます。

また、正方形だけでかまれた形を**立方体**といいます。

直方体や立方体は、まわりが平らな面だけでできています。平らな面のことを**平面**といいます。

直方体や立方体、3年生で学習した球などの形を**立体**といいます。

ふりかえり

箱の形を仲間分けするときには、面に目をつけるということがあります。

ゆうとさんとゆういさんが目を付けたところはちがっていましたが、実は一応はわかりました。

1時間の区切りの目安を示すしおりマーク

p.238

経験の浅い先生や算数専門でない先生も授業の流れがイメージしやすい、授業場面イラストや吹き出し

児童が見出すこと、先生が教えることを、赤枠と青枠で区別

### 5 専門家監修のもと、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮

**全面的に UD フォントを使用**

本文や吹き出し、ページ番号など、全面的に、見やすく読みやすい**ユニバーサルデザイン**フォントを使用しました。特に教科書体は、**デジタル教科書でも読みやすい書体**を採用しました。



**読みやすい位置での改行**

単語の途中で改行せず、**読みやすい位置で改行**しています。



**ページ番号**

ページ番号は枠で囲むとともに**太い書体**を採用し、判別しやすくしました。

185

**カラーユニバーサルデザイン**

色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、**配色に配慮**しました。インデックスでは、■■■■のような模様の処理を施し、より判別しやすくしました。

12 面積

**問題解決の段階を示すタグ**

問題解決の段階を示したタグを入れて、特別な配慮を必要とする児童を含め、全ての児童にとって**今何をしているかが把握**しやすく、安心して学習に取り組めるようにしました。

問題をつかもう

# 6 学年間の系統性，幼児教育・中学校との接続に配慮

**4年目次**

前の学習

1 折れ線グラフと表 ..... 10

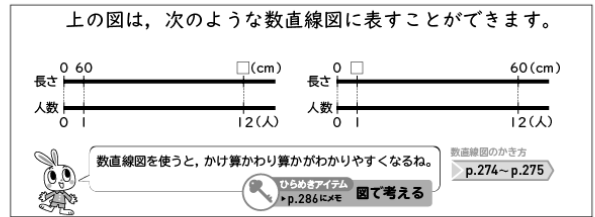
2 わり算の筆算 ..... 30

あとの学習

5 割合を表すグラフ

6 2けたの数をわける計算

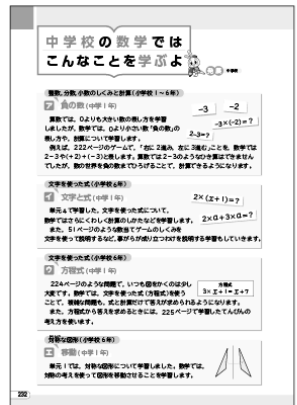
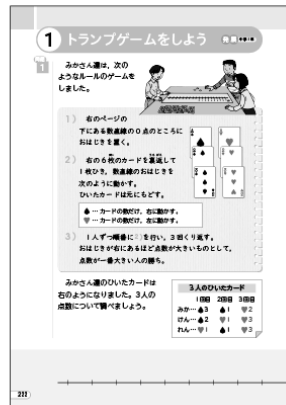
目次では、既習事項とのつながり、今後の学習とのつながりを明示しました。表紙裏～p.1



演算決定などで重要となる図については、6学年を通して系統的に扱い、徐々に使いこなすことができるように配慮しました。また、巻末に数直線図のかき方の手順を解説した特設を設けました。 p.142



1年生巻頭では、幼稚園・保育園とのつながりを示唆するオープニングページを設定。単元の学習でもスタートカリキュラムをふまえた内容を工夫しました。

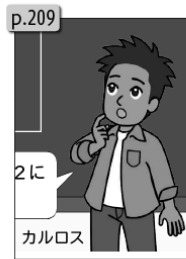


5, 6年では、中学校の学習との接続を意図した特設を設置。数学へとつながる問題・活動や、数学の内容を紹介するページを設けました。

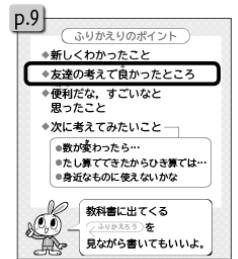
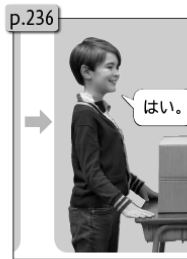
# 7 様々な現代的な課題に対応



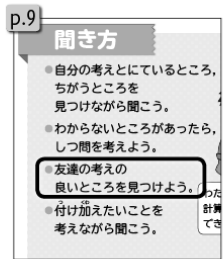
〈外国語活動〉  
外国の数の読み方を取り上げ、異文化理解を促すとともに、外国語活動の一環としても扱えるようにしました。



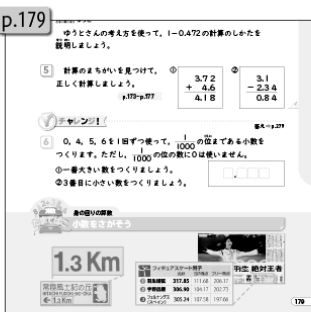
〈異文化理解〉  
キャラクターの1人を外国にルーツをもつ児童に設定。挿絵や写真でも適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。



〈道徳教育〉  
友達の考えの良いところを見つけることを促す記述を取り入れるなど、道徳教育との関連をはかりました。



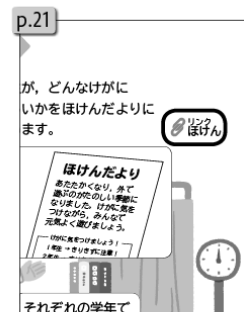
自分の考えとにているところ、ちがうところを見つけながら聞く。わからないところがあったら、しつ間を考えよう。友達の考えの良いところを見つけよう。付け加えたいことを考えながら聞く。



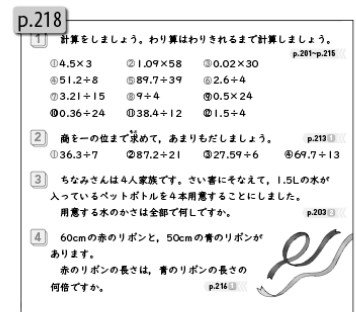
〈オリンピック・パラリンピック〉  
競技記録やキャリア教育インタビューを掲載し、オリンピック・パラリンピックを教育に生かせるようにしました。



〈他教科との連携〉  
他教科との関連をマークで示しました。



〈防災教育〉  
備蓄に触れる問題を取り入れました。



備蓄に触れる問題を取り入れました。



## 教科書の特徴

教育基本法の遵守	・教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	・算数科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	・巻頭の「算数まなびナビ」において、 <b>ペア・グループ学習を含めた対話的な学び</b> の方法を例示しました。(p.6～9) ・「じっくり深く学び合おう」の時間では、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動などを通じて、 <b>深い学び</b> が実現するように配慮しました。(p.30～35, p.123～124など)
基礎的・基本的な知識・技能の習得	・毎時の適用問題を <b>従来よりも豊富に掲載</b> するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を <b>全単元にわたって</b> 設定しました。(p.79, 175など, p.257～269) ・ <b>前の学年までの学習内容を図などを使ってまとめた「3年までのまとめ」</b> を新設し、知識・技能をくりかえしふりかえることができるようにしました。(p.270～273) ・ <b>学年1冊本</b> とすることで、既習事項のふりかえりがしやすくなるようにしました。また、ふりかえりが特に有効なところでは、 <b>リンクマーク</b> を付しました。(p.129, 211, 215など)
思考力・判断力・表現力等の育成	・本時のまとめでは、 <b>考え方に焦点をあてたまとめ</b> を適宜取り入れました。(p.149, 174など) ・ <b>様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」</b> として設定し、学習を進める中で獲得したり、獲得した見方・考え方を活用したりする展開を工夫しました。(p.50, 54, 94など)
学びに向かう力、人間性等の涵養	・単元の導入などは、 <b>児童自身が問題や疑問を見だし</b> 、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。(p.30, 163) ・「 <b>ふくろう先生のなるほど算数教室</b> 」を新設し、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりすることができるようにしました。(p.72～73, 110, 154, 198, 235, 251)
個に応じた指導	・ <b>水色の印で適用問題のタイプ分け</b> を提示するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を <b>全単元にわたって</b> 設定し、時間調整や <b>習熟度別指導</b> に対応しやすくしました。(p.52, 175など) ・単元末の「たしかめ問題」は、「 <b>しっかりチェック</b> 」「 <b>チャレンジ!</b> 」を設けるなどし、 <b>習熟度別指導</b> などの個に応じた指導の際に、柔軟に活用できるようにしました。(p.82～83など)
学年間の系統性への配慮、幼保小の連携、小中の接続	・目次では、 <b>既習事項とのつながり</b> 、 <b>今後の学習とのつながり</b> を明示しました。(表紙裏～p.1) ・1年生巻頭では、 <b>幼稚園・保育園とのつながり</b> を示唆するオープニングページを設定しました。単元の学習でも <b>スタートカリキュラム</b> をふまえた内容を工夫しました。 ・5, 6年では、 <b>中学校の学習との接続</b> を意図した特設を設置しました。
ICT教育への対応	・ <b>無料のデジタルコンテンツ</b> を豊富に用意し、対応するページにマークを付しました。(p.15, 88, 242など) ・プログラミング教育に対応したページを <b>全学年</b> に設けました。(p.256)
道徳教育との関連	・ <b>友達の考えの良いところ</b> を見つけることを促す記述を取り入れるなどし、道徳との連携にも配慮しました。(p.9など)
他教科との関連	・社会科、理科など、 <b>他教科に関連した題材</b> を適宜扱うとともに、関連していることをマークで示しました。(p.122など) ・ <b>折れ線グラフの学習</b> を学年の早い段階に位置づけることにより、他教科で活用できるようにしました。(p.10)
現代的な諸課題への対応	・外国語活動との連携に配慮し、英語の数の読み方に関する特設ページを設けました。また、異文化理解を促すため、キャラクターの1人を <b>外国にルーツをもつ子供</b> としたり、イラストや写真の中でも、適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。(p.72～73, 53, 236など) ・オリンピックやパラリンピックを題材とした話題や写真を取り上げました。(p.179, 251)
伝統文化を尊重する態度の育成	・ <b>日本の伝統的な遊び</b> に関連する問題やそろばんの学習を通して、日本の伝統文化を尊重する態度を育成することができるようにしました。(p.25, p.196～197など)
評価への対応	・適用問題を豊富に設け、単元末には「たしかめ問題」を設定することで、評価としても活用することができるようにしました。(p.79, p.82～83など) ・「 <b>ふりかえろう</b> 」を設置し、学習感想を書かせることで、評価の資料とすることができるようにするとともに、自己評価をすることができるようにしました。(p.35など)
家庭・地域社会との連携	・ <b>家庭や地域においても算数を活用する態度</b> を育成できる題材を工夫しました。(p.123, 200)
安全への配慮	・教室外の活動などでは、 <b>安全に行うことができるもの</b> を採用しました。(p.95など)
配列・分量	・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組みました。 ・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、 <b>年間の予備時数も十分に確保</b> しました。 ・単元内の問題は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるために豊富に用意しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	・専門家の監修のもと、文節単位での改行、 <b>全面的なユニバーサルデザインフォント</b> の使用、 <b>カラーユニバーサルデザイン</b> をふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
印刷・製本	・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工しました。 ・製本は児童にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

## II 対照表

第4学年

二重線は3学期制の区切り、太破線は2期制の区切り

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当 時数	用語・記号
巻頭	「たのしい算数」の使い方		2~5	-	
	算数まなびナビ		6~9	-	
本文	1 折れ線グラフと表	D(1)ア(ア)(イ),イ(ア)	10~27	11	
	グラフから読み取ろう		28~29	1	
	2 わり算の筆算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ),イ(ア)	30~45	10	和, 差, 積, 商 37
	ふくしゅう, 暗算	内容の取扱い(2)(3)	46	1	
	3 角度	B(5)ア(ア)(イ),イ(ア)	47~58	7	
	4 大きな数	A(1)ア(ア),イ(ア),内容の取扱い(1)	59~70	8	
	大きな数をつくろう		71	1	
	英語の数の読み方		72	-	
	5 式と計算	A(6)ア(ア)(ウ),イ(ア),(7)ア(ア),イ(ア),内容の取扱い(6)	74~83	6	
	6 垂直, 平行と四角形	B(1)ア(ア)(イ),イ(ア),内容の取扱い(7)	84~109	15	平行 90, 垂直 86, 対角線 104
	つなげて切ると?		110	-	
	ふくしゅう	内容の取扱い(3)	111	-	
	7 がい数	A(2)ア(ア)(イ)(ウ),イ(ア),内容の取扱い(2)	112~126	11	以上, 以下, 未満 119
	8 2けたの数でわる計算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ),イ(ア),内容の取扱い(4)	127~144	16	
	9 変わり方	A(6)ア(ウ),イ(ア),C(1)ア(ア)イ(ア)	145~153	5	
	曾呂利新左衛門のほうび		154	-	
	ふくしゅう	内容の取扱い(3)	155	-	
	10 倍とかけ算, わり算	A(3)イ(ア),C(2)ア(ア),イ(ア)	156~160	5	
	どんな計算するのかな		161	1	
	おみやげを買おう		162	1	
	11 小数	A(4)ア(イ)(ウ),イ(ア)	163~179	13	
	12 面積	A(6)ア(イ),イ(ア),B(4)ア(ア),(イ),イ(ア),内容の取扱い(8)	180~195	10	真分数, 仮分数, 帯 分数 222
	そろばん	A(8)ア(ア),イ(ア)	196~197	2	
	天才ガウス少年の計算		198	-	
	ふくしゅう	内容の取扱い(3)	199	-	
	13 小数と整数のかけ算・わり算	A(4)ア(ア)(エ),イ(ア),(7)イ(ア),内容の取扱い(5)	200~219	14	
	14 分数	A(5)ア(ア)(イ),イ(ア)	220~234	10	真分数, 仮分数, 帯 分数 222
	小数と分数のれきし		235	-	
	15 直方体と立方体	B(2)ア(ア)(イ)(ウ),イ(ア),(3)ア(ア),イ(ア)	236~250	9	平面 238
	算数お仕事インタビュー		251	-	
	4年のふくしゅう		252~255	2	
				合計	158
巻末	プラス・ワン		257~269	-	
	3年までのまとめ		270~273	-	
	数直線図のかき方		274	-	
	さくいん		287	-	

### 〔数学的活動〕

学習指導要領の内容	該当箇所ページ
(1) ア	19~20, 21~23, 24~25, 113~114, 120, 123~124, 151, 159, 163~164, 181~182
(1) イ	30~35, 53~54, 59~60, 96~98, 127~128, 136, 163~164, 173~174, 176, 187~188, 201~202, 207~208, 237~238
(1) ウ	14, 19~20, 24~25, 30~35, 53~54, 75~76, 96~98, 113~114, 123~124, 127~128, 142, 146~148, 149, 150, 151, 156, 157, 158, 173~174, 181~182, 187~188, 201~202, 207~208, 216~217, 237~238

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-60	小学校	算数	算数	4 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数403	たのしい算数4年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
70	兆より大きな数の位の名称	2	A(1) ア (ア) 億,兆の単位について知り,十進位取り記数法についての理解を深めること。	0.5
73	英語の大きな数の読み方	2	A(1) ア (ア) 億,兆の単位について知り,十進位取り記数法についての理解を深めること。	1
235	ステピンの方法で小数を表すこと	2	A(4) ア (イ) 小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに,数の相対的な大きさについての理解を深めること。	1
			合計	2.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上,隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても,当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上,どの学年等でも扱うこととされていない内容